

令和2年度

第9回デザイン審査小委員会 会議録

1. 開催日時・方法	助言事項決定日：令和3年3月8日 書面開催
2. 会議出席者	デザイン審査小委員会 委員 ・委員長 田中 栄治 ・委員 神農 悠聖 ・委員 江尻 幹子 事務局 ・都市計画課長 小山 雅之 ・都市計画課主査 上田みのり ・都市計画課 藤田 高弘 事業課 交通政策課
3. 議題及び内容	1. 市が実施する公共事業に係る形態意匠、色彩等の相談及び助言に関するもの 1件 ・「空港行きバス」にかかる広報・誘導サインの更新
4. 議決事項	—
5. 議事の要旨	下記の内容を助言事項とすることとなった。 令和3年2月12日付デザイン審査小委員会からの事前意見に対する回答のとおり変更を行い、全体が弱くなり過ぎないようにバランスを整えた上で、デザインを決定してください。 また、伊丹市交通局のバス停サインが統一感のあるものになるよう、将来を見据えた計画としてください。 なお、この助言と異なる変更を行う場合は、必ず事前に都市計画課と協議を行ってください。 令和3年2月12日付事前意見 ■全体デザインについて ・日本語、英語、ピクトのレイアウトがバラバラに感じます。バス乗り場のピクトを下にして、日本語は、「大阪国際空港（伊丹空港）行 バスのりば」と1行にして、英語もその下に1行で表記してはどうでしょうか。全体的に上から、ロゴマーク、文字、ピクトとレイアウトを明快にするのがいい

	<p>と思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バスのりばピクト」「5」「地図」を横に並べて、5は周囲の「丸」はなくして数字に色を付けて、「バスのりばピクト」+「5」のセットで「5番バスのりば」と見えるようにするのがいいと思います。 ・すっきりとしていて良いと思います。余白をうまく使っていて文字も見やすく感じます。 <p>■色彩について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図は周囲の黒枠はなくして、原案で白のところを地色と同じにしてもわかるのではないのでしょうか。案内板にほかの地図を持ってきて貼ったようなデザインではなく、案内板に直に地図が描かれているようにした方がスッキリとしたデザインになります。地図のまわりには、もう少し余白があったほうが見やすくなると思います。 ・背景のブルーが目立ち、伊丹国際空港とリンクしてイメージがしやすいと思います。 <p>■配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サインを支柱に張り付けたときに、サインがどのように見えるのか。もしも、階段から降りてきた位置から見たときに、サインの内容があまり見えないのであれば、サインを縦長になるようにデザインしてもよいのではないのでしょうか。 ・誘導サインを取り付ける場所が丸い柱で、しかもサインが横長型なので見にくいのではないかと思い現地を確認してみました。階段の上からもよく見えて、背景のブルーが際立ち一眼で確認でき、安心しました。 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円柱にいろいろな案内が貼られているのは、駅前の景観として好ましくありません。まちなかの電柱に張り紙がぺたぺた貼られているような感じになってしまいます。可能であれば、円柱とは別に自立サインの計画してほしいです。そのほかの案内と総合的なサイン計画が必要です。
6. その他	なし